

令和6年秋の叙勲 アンドラーデ前 CNI 会長への伝達式：大使挨拶

2025年2月4日

皆様、ようこそ日本大使公邸にお越し下さいました。

日ブラジル外交関係樹立130周年の重要な節目を迎えたこの年に、日本・ブラジルの経済界相互の理解と親善を深め、貿易、投資など経済交流の促進に寄与されたホビソン・ブラガ・デ・アンドラーデ前ブラジル全国工業連盟（CNI）会長に叙勲を伝達できることを大変光栄に思います。

令和6年秋の叙勲において、ホビソン・ブラガ・デ・アンドラーデ前 CNI 会長は「旭日重光章」を受章されました。

アンドラーデ氏は、平成22年から令和5年までブラジル全国工業連盟（CNI）の会長を務め、日ブラジル両国経済界トップ同士の議論をまとめ、両政府への提案や働きかけを行うとともに経済界からの重要なメッセージを発出してきました。

アンドラーデ氏は、昭和48年に創設された日・ブラジル経済合同委員会において、平成25年の第16回日・ブラジル経済合同委員会から令和5年の第24回委員会までの11年間にわたり、ブラジル側主催団体の会長として同委員会の議論をリードするとともに、報告書の取りまとめに尽力し、その内容を何度も政策提言としてまとめてきました。

例えば、令和5年の第24回委員会では、日本とメルコスールとの経済連携協定締結等を政策提言する「日伯経済関係の推進に向けた共同声明」を発表し、上川外務大臣、西村経済産業大臣に建議しました。

こうした継続的なハイレベルへの提言を受けて、平成29年以来開催が途絶えていた日・メルコスール経済関係緊密化のための対話が令和6年に再開されるなど、日本とブラジルを含むメルコスール地域との関係強化に貢献しました。

また、委員会での議論や報告書とりまとめにあたって、参加する日本とブラジル企業の要望に真摯に耳を傾け、その実現に尽力してきました。具体的には、ブラジルにおけるインフラ需要・消費旺盛な中間所得層の台頭等の潜在力を最大限引き出すため、複雑な税制の是正や、労働者を過度に保護する労働法制の改正等、日本企業にも資するビジネス環境整備について、ブラジル国側において、粘り強く取り組んできました。

日・ブラジル経済合同委員会でのイニシアティブを通じてビジネス環境の改

善が進んだ結果、アンドラーデ氏がブラジル全国工業連盟会長に就任した平成22年以降、ブラジル国への進出日系企業は360拠点から682拠点、日本からブラジル国への年間投資額は、約150億レアルから最大約265億レアルまで増加する等、日本企業のブラジル事業が拡大し、日ブラジル経済関係が一層深化しています。

アンドラーデ氏のこのような一連の功績により、ブラジルでの日本企業による活動環境は整備されつつあり、日本企業のビジネス機会拡大に多大な貢献を行ってまいりました。令和5年で同会長職を退任したところ、産業・経済の発展のために尽力してきたアンドラーデ氏の御功績に敬意を表し、御家族、友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝するとともに、今回の叙勲をお祝い申し上げます。